

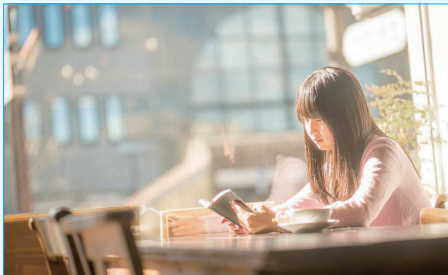


# radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

CAMNET マガジンをお楽しみの方。27年7～8月号の「雲心月性」です。radio Camnetでも番組名を変更しましたが、9月目に突入、そして7月号は100月目に到達したこともあって、玄関口だけ模様替えてことです。実際にradioの方も、その構成などは大きな変化もなく、いつも通りに聴いていただけます。マガジンのコラムと共にradioもよろしくお願いたします。

さて、前号の5～6月号には情報が間に合わなかったのですが、去る4月27日、大槻の4枚目のiTunesリリースアルバム「Adolescent Memories」が配信開始になりました。



今回はボッサ、そして時にサンバ、ちょっとスカって感じでアレンジをしています。楽曲は高1の冬から約1年間、福島県郡山市の同学年の女子高生、幸田圭子さんと歌詞のやり取りを文通のようにしていました。お会いしたこともないままに、たぶん、双方が受験などで忙しくなって連絡が途絶えたままになったのです。今回は幸田圭子作詞集！

すべての歌詞には大槻が改めて補作詞を加えて1曲だけは当時のメロディーに、改めて補作詞した部分を作曲して、前12曲を配信しております。

そして、いつもと同様に歌詞カードと、なんと今回は『作品世界を小説化した作品や、大槻史優をモデルに穴戸礼氏が撮り下ろした写真等もお楽しみいただけます。』というキャッチコピーが表すように、1曲目の「恋でした」をモチーフにした短編小説「恋でした」、さらにジャケットにもあります写真などがふんだんに使われたKindle版も同時にリリース開始です。

ぜひ、お楽しみください。



思春期の揺れ動く  
想いを描いた  
幸田圭子さんの作詞集に  
補作詞を加えて、  
軽やかなリズムに乗せて  
歌います。  
いつでも、  
いつまでも **思春期は心の中に**

川崎医科大学  
衛生学  
大槻 剛巳

また、これまでシングル1曲とアルバム3枚をiTunesからはリリースしておりますが、知り合い配布用にはこんなフライヤーも作りました。

はい話、iTunesやGoogle PlayやAmazonで「大槻剛巳」を入力して検索してみてくださいというPRなのです。

おつき たけみ  
大槻 剛巳  
ニューリリース (2017.4/27)  
Adolescent Memories  
幸田圭子作詞集  
補作詞：大槻剛巳

Kindle版  
iTunes リリース楽曲  
歌詞カード (+説明書)は Kindle版電子書籍で  
Line-up

2016.11.02 シングル  
恋でした  
2016.12.01 アルバム  
Scenes in Seasons  
2015.07.01 アルバム  
Having the Party  
2014.10.21 アルバム  
Beyond the Account, Having Finished the Annual Meeting

では今月の1曲、アルバム1枚目で、また小説のモチーフになった「恋でした」、幸田圭子さん作詞の部分を紹介しましょう！

※恋でした※  
作詞：幸田圭子

風にさらわれ 心がにじむ  
雨に打たれた 後のように  
湿っぽさだけ 残っている  
どこまで行くだ ぼくの心  
澄んだ空に 引かれて行く  
風船といっしょに ぼくの恋も

窓のカーテン 薄ボンヤリの青  
投げ出した スケッチブック

いくつも残る あなたの影  
冷たく吹きつける うつろな風  
ミルク入りの コーヒーさえも  
今では苦さが 残っているだけ  
…恋でした  
…恋でした

遠い街の 灯のように  
消え入りそうな 貴女の姿

コップの中の スミレの花が  
いつの間にか 枯れていた

…だからもう 忘れませ  
…なるべく 早く ——忘れませ



♪オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで

## プロフィール 大槻 剛巳 (おつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授  
0歳：京都府福知山市にて生誕  
14歳：  
京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
15歳：倉敷市に転居  
15&18歳：NHKあなたのメロディー出演  
18歳：YAMAHAポプコン全国大会 (譜面の部) 出場  
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
24歳：川崎医科大学卒業  
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事  
1992-1996年：米国留学 (医学研究)  
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
2009年：Camnet CH-F (10-19) パーソナリティ担当  
現在に至る